



2018年3月17日 チーム神於山 活動報告

シャープ社友会
チーム神於山 真砂 記

■活動日：2018年3月17日（土） 10：00～15：00

■参加者：チーム神於山 正会員 10名

■活動内容

- ・今回は、フクロウの営巣確認と、5種 12本（[ゆら] 3本、[田口] 3本、[デコポン] 2本、[甘夏] 2本、[伊予柑] 2本）のミカンの木の植樹に取り組んだ結果、残念ながらフクロウ営巣は確認できませんでしたが、ミカンの木は、無事予定通り植樹することができました。
- ・植樹リーダーの原さん以下、参加頂いた10名の皆さん、本当にお疲れ様でした。
- ・これから少なくとも1年間は、最低2週間に1度、1本当たり20～30ℓの水遣りがルーチンワークになりますから、1回当たり240～360ℓの水をどう確保するかが最大の課題です。
- ・幸い岸和田市から、暗渠の排水管から雨水を取水する許可を頂きましたので、取り急ぎ香遠代表に手配頂いたドラム缶（200ℓ）を設置しました。
- ・これで倉庫の屋根の取水装置と合わせ、最大300ℓ取水できますが、次回以降、計画している倉庫と薪置き場の波板の屋根を利用した雨水収集装置作りを急ぐことにします。

■今後の活動について

- ・ここ暫くは、毎週末のフクロウの営巣確認と、2週間に一回のミカンの木への水遣りがルーチンワークです。
 - ・現在は変則的ですが、活動日は第2・第4土曜ですから、以下の手順で正規の形に戻します。
 - ①3月24日（第4土曜）は、フクロウの営巣確認（有志活動）
 - ②3月31日（第5土曜）は、フクロウの営巣確認とミカンの木への水遣り（全体活動）
 - ③4月7日（第1土曜）は、フクロウの営巣確認（有志活動）。
 - ④4月14日（第2土曜）は、フクロウの営巣確認とミカンの木への水遣り（全体活動）
 - ⑤4月21日（第3土曜）は、フクロウの営巣確認（有志活動） 以下、全体活動と有志活動の繰り返し。
- ※別途岡森さんから、それぞれの活動への参加を確認しますのでご協力をお願いします。

■ミカンの木の植樹

苗を保持する役と、土をかぶせる役の2名一組で進めました。



まず、根の広がりとお深さに合わせて穴を掘ります。



一人が苗を支え、もう一人が優しく土を入れます。

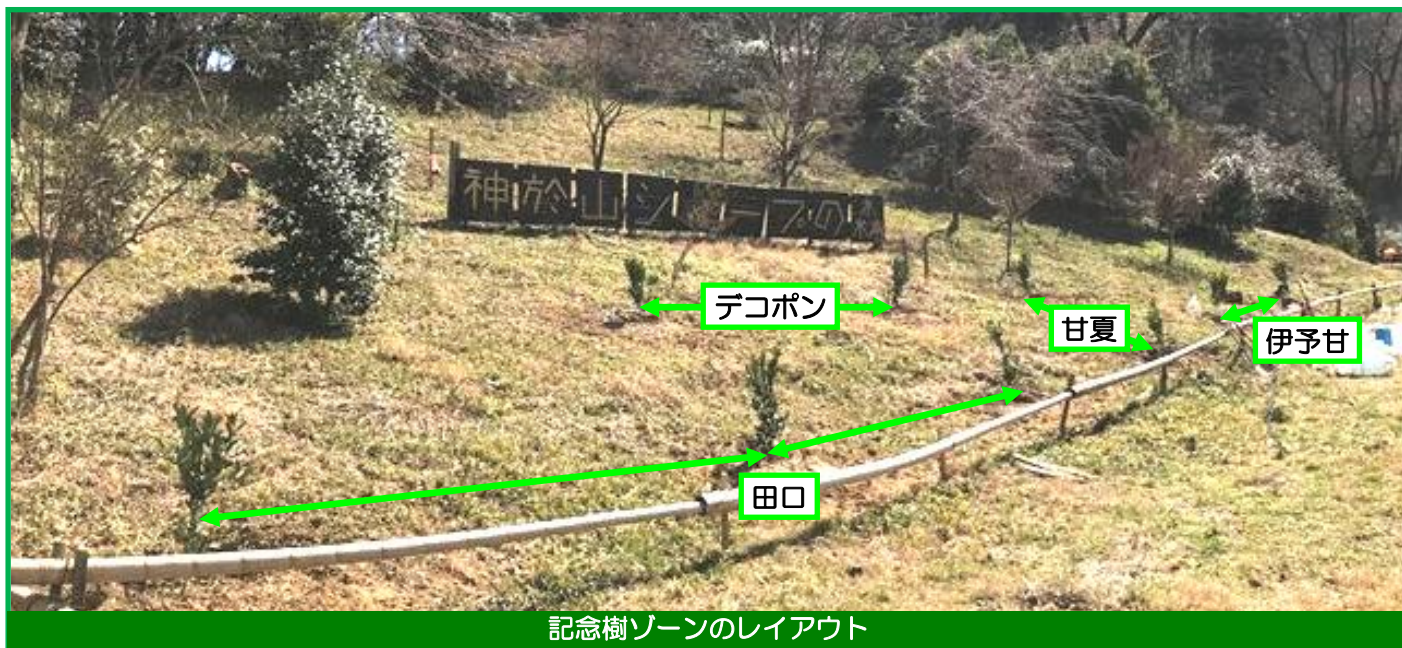


水は、土入れの途中で一度やり・・・



最後にたっぷりと。

- ・リーダーの原さんの指導の下、土作りを終えた植場に、根の広がりとお深さに合わせて穴を掘ったあと、
 - ①今回の苗には土がついていないので、根が団子にならないように、一人が苗を空中に浮かせた形で持ち、
 - ②もう一人が根の広がりに合わせて慎重に土を入れ、
 - ③概ね埋め込めた段階で一度水をやって、更に土を入れ、
 - ④周囲をドーナツ形に固めた後、
 - ⑤最後にたっぷり水をやる。
- という手順で進めました。



- 原さんが用意してくれたマルチシート（苗木の保護、水分蒸発の防止、地温の確保等の為に植え床を覆うビニールシート）を敷き込み、支えの竹を付けて植込み完了です。
- ミカンは、日当たりが良く、水はけの良い場所を好みますから、自然林がある尾根道から遠い位置ということで、記念樹ゾーンの多目的広場寄りに植えました。
- しかし、尾根道近くから大きく枝を伸ばした自然木があることから、場合によっては枝打ちをしないといけないかもしれません。



■今回の水の確保策

今回は持ち寄りの水（約 240ℓ）で十分でしたが、今後は極力雨水で賄います。



10人で持ち寄った水（約 240ℓ）



暗渠の雨水（約 140ℓ）+ 倉庫の屋根の雨水（約 80ℓ）＝約 220ℓ



■今後の水の確保策

暗渠と倉庫の屋根に加え、近々、倉庫と薪置き場の波板屋根に雨水収集装置を付けます。



17日に設置した暗渠の雨水収集装置



倉庫の波板屋根。トコを付ければすぐ取水できます。



薪置き場の波板屋根。もう一列増やして取水します。

■閑話休題

前日までの雨でシイタケが一気に出ていました。活動日と収穫日のタイミングが合わず残念です。



- “どんこ”の状態で収穫したいのですが活動日とタイミングが合わないのが悩みです。
- 今回も開き過ぎて、お化けになったものもあり、“どんこ”は少数でした。



以上